

## 陽だまりカフェ

(参加者皆様のご意見をまとめました)

C グループ「社会性育む地域とのかかわりはとれていきますか？」

～親以外の大人とのふれあいどう活かす？～

<地域とのつながり（かかわり）をどのように作るか>

・子どもの成長にとって地域とのつながりを必要に感じる－全員

<なぜつながり、かかわりが必要に感じるのか>

・地域愛（郷土愛）の熟成 ・いろいろな人がいることを知る ・地域の子どもは地域で育てる必要がある ・地域での活動を通じて自己肯定感を育みたい。

<地域に子どもや親が人々をつなげる行事や仕組みはありますか？>

・育成会の活動 ・祭事や昔から続く行事 ・地域のスポーツのチーム運営や活動  
・コミュニティースクールの活動 ・授業参観 ・地元消防団員として地域で交流  
・小学校で読み聞かせなどのボランティア活動

○とっておき事例○

- ・中学生がお助け隊として地域でボランティア活動
- ・大学生が小学生に遊び、中学生に学習指導をしている
- ・伝統的な祭りがあり仕組みとして参加することが前提。地域で共通の認識となっている
- ・PTA 活動や会議に子連れ OK とし、皆で子守りをしながら会議に参加できる
- ・祖父母との登校の日を月 1, 2 回もうけ校長室で祖父母はお茶を飲んで帰る
- ・学校で地産地消の日を設け、生産者が学校を訪問する
- ・地域の年配の方からわら細工や将棋、郷土料理作りを教えていただいている
- ・老人ホーム等にいき吹奏楽演奏の慰問を行っている

など

<課題は>

・親は共働き、子は塾や習い事など両立が難しい ・やらなければならないという義務感がきつい ・人がいなくて一人あたりの負担が大きい ・子どもを含めた行事の運営に関わると大人同士の会議や付き合いがあり、子どものためなのか疑問の上、子どもとの接点がなくなるジレンマがある ・古くからある地域と新興住宅地の人々の認識格差が大きい ・警戒心や恥ずかしさからあいさつしない ・過疎化でバス通学となり、子どもたちが地域の人と会うことがない ・学校行事を呼びかけても在学していない家庭に関心を持ってもらえない など

<解決策として>

・コミュニティースクールの取り組みに PTA の関わりを強くする

- ・ PTA 作業や学校行事を通じて子どもたちとの交流になる
- ・ 地区の祭りや行事を通じて地域との交流ができる
- ・ 大人自らほかの人や子どもにあいさつすることが必要
- ・ 親が地域の活動を前向きに考えることで子どもに伝わる
- ・ 負担感が少ない行事にしていく
- ・ 男親の参加がもっと必要（例・おやじの会）
- ・ 価値の共有が大切。例えば行事、PTA 活動、祭りなどの由来や意味を学ぶ  
など

グループの一つは、「子どもの成長にとって地域とのかかわりは本当に必要か」という問いから始めたそうです。核家族や共働き世帯が多くなり、情報化社会で地域とのつながりを最優先しなくてもいい時代。社会性を育む地域とのかかわりが必要だということから本テーマにつなげて、問題提起していました。子どもが社会人として自立するまで、社会性を身につけ成長するには、地域や周りの環境が大きく関わるのではないのでしょうか。